

APEXi. EXHAUST SYSTEM

SUPER CATALYZER with EXHAUST MANIFOLD

車型別装着説明書

□対応車型 ※下記の対応車種以外への取付けは行わないでください。

車名、通称名		車両型式	
トヨタ GR86(AT)		3BA-ZN8	
年式	エンジン型式	製品番号	性能等確認済表示
'21/10~	FA24	143-T007J	JQR31225078

□構成内容

No.	パーツ名	サイズ	数量	No.	パーツ名	サイズ	数量
①	エキゾーストマニホールド	専用品	1	⑨	ガスケット	P96 × φ 61.5	2
②	フロントパイプ	専用品	1	⑩	プラグボルト	M18 × P1.5 × L12	1
③	スーパーキャタライザ	専用品	1	⑪	ボルト	M10 × P1.25 × L30	4
④	O2センサ延長ハーネス	専用品	1	⑫	ナット	M10 × P1.25	4
⑤	Pクリップ	専用品	1	⑬	ワッシャ	M10用	8
⑥	サーモシール	300 × 300	1	⑭	自動車試験証明書	自動車排出ガス試験結果積表(軽・中量車モード)	1
⑦	結束バンド	L=150	5	⑮	取扱説明書		1
⑧	ガスケット	異形	2	⑯			

※純正部品の取付け取外し作業は、自動車メーカーの作業手順に従って作業してください。

□装着方法

1.右図を参照して、キャタライザとエキゾーストマニホールドを装着し、各ボルトとナットの仮締付けを行ってください。
※右図のボルトとナットは複数の場合省略してあります。すべて取付けてください。

2.アベックスマフラーの装着方法 1. (→p.2/2)を参照し、アベックスマフラーの仮締付けを行ってください。

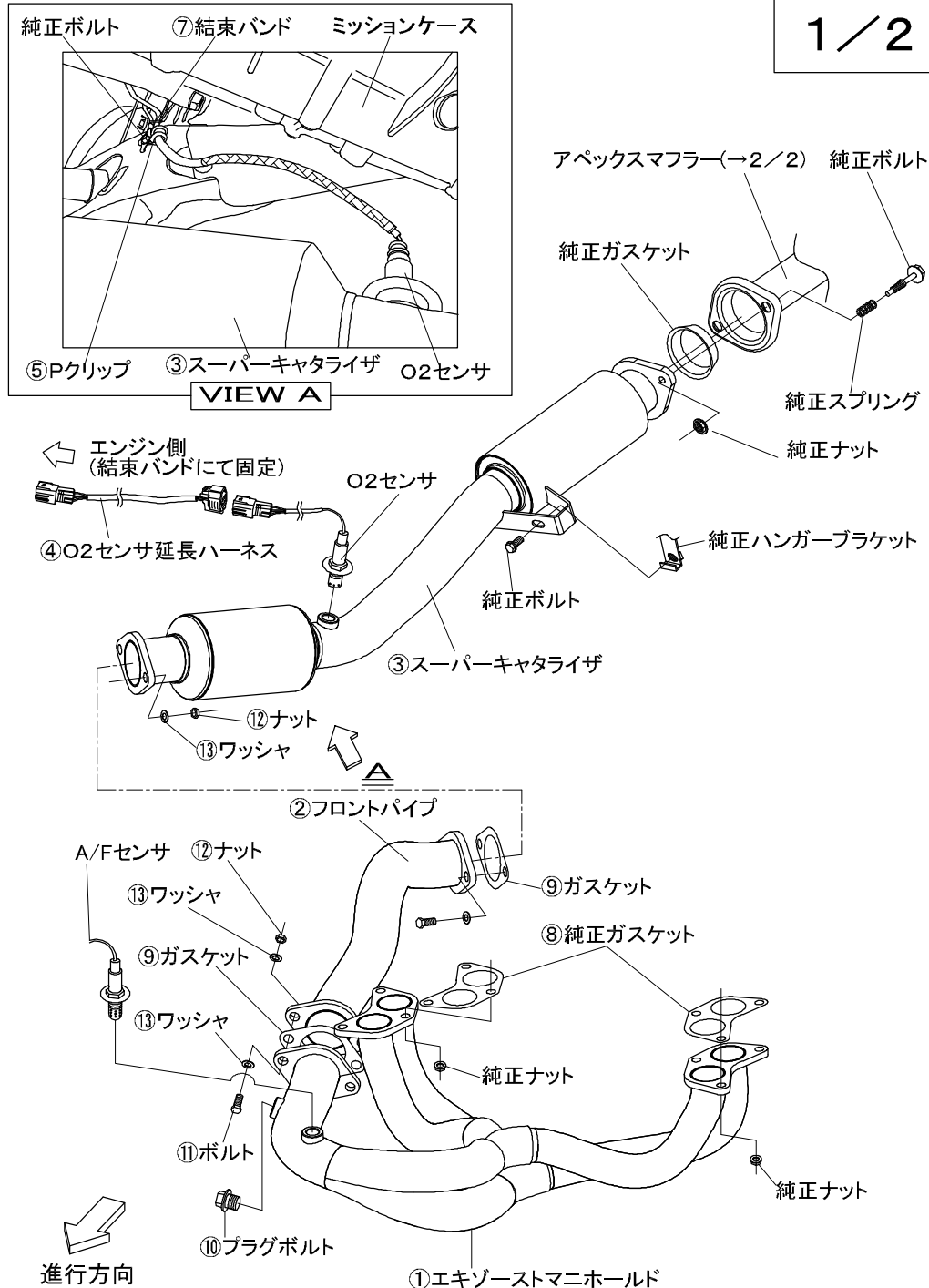
3.マフラーの位置関係や自動車の床、クロスメンバ、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら仮締付けてあったボルトとナットを前側から順番に指定トルクで締付けてください。

※キャタライザとエキゾーストマニホールドは下記参照
マフラーはアベックスマフラーの装着方法 2. を参照(→p.2/2)

締付けトルク

- M6 6~7N・m(0.6~0.7 kgf・m) (O2センサハーネス取付けボルト)
- M10 65N・m(6.6 kgf・m) (エンジン側絞付けナット)
- M10 43~55N・m(4.4~5.6 kgf・m) (接続ボルト、ナット)
- M10 18N・m(1.8 kgf・m) (ブラケット側絞付けボルト)
- A/Fセンサ プラグボルト 24~34N・m(2.5~3.5 kgf・m)

以降はアベックスマフラーの車型別装着説明書の上記項目以降を参照(→p.2/2)



□構成内容

No.	パーツ名	サイズ	数量	No.	パーツ名	サイズ	数量
①	アベックスフロントマフラー	専用品	1	⑥	ワッシャ	M10用	4
②	アベックスメインマフラー	専用品	1	⑦			
③	ガスケット	P97 φ66.5	1	⑧			
④	ボルト	M10×P1.25×L30	2	⑨			
⑤	ナット	M10×P1.25	2	⑩			

□アベックスマフラーの装着方法

- 1.右図を参照して、マフラーを装着し、各ボルトとナットの仮締付けを行ってください。
※右図のボルト、ナット、ワッシャは複数の場合省略してあります。すべて取付けてください。
- 2.マフラーの位置関係や自動車の床、クロスメンバー、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら仮締付けしてあったボルトとナットを前側から順番に指定トルクで締付けてください。

締付けトルク

M8 21~26N・m(2.1~2.7 Kg・f)
M10 43~55N・m(4.4~5.6 kgf・m)

- 3.テールパイプと車両側バンパーの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合が発生した場合、最初から締めなおしてください。

▲警告

特にブレーキ関係、燃料関係、駆動関係及び電気関係の配線とのクリアランスには、細心の注意を払ってください。

▲注意

クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーの場合熱で溶けることがあります。

□アベックスマフラーの装着状態の確認

- 1.全体の取付けが完了したら、再度マフラーを手で揺さぶり各部のクリアランスを確認してください。
- 2.エンジンを始動して暖機し、約2,500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
- 3.試運転して再度、各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
- 4.1~3の項目に異常が発生した場合、面倒でも最初から装着をやりなおしてください。
- 5.取付け時から200km~300km走行後、各部に緩みが無い事を点検し、増締めを行ってください。

